科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	朝鮮語ＩＡ（演習） K1201 Primary Korean A			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　小倉　紀蔵		
群	外国語科目群	分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	木3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

朝鮮語は日本語と文法構造がよく似ている言語であり、語彙も特に漢字語は日本語と共通のものが多いので、習得しやすい外国語である。しかし「ハングル」という見慣れぬ文字で表記されている上、発音が複雑なので、文字と発音の基礎はみっちりトレーニングする必要がある。
この授業ではまず朝鮮語の文字と発音を正確にマスターし、次に朝鮮語の文法を段階的に習得しつつ、朝鮮半島の文化・社会・歴史などに関する知識を身につけながら、それに関連した表現方法を運用する能力を養うことを目的とする。
【注意】本学で「朝鮮語」というのは、朝鮮半島すなわち韓国（大韓民国）と北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）で使用されている言語のことである。この両国で使用されている言語には若干の相違が認められるが、大差はない。なお、特に韓国で使用されている言語を指すときには「韓国語」という呼称を用いる。

[到達目標]

①朝鮮語の文字と発音を正確にマスターする。②朝鮮語の初歩の文法を段階的に習得する。③朝鮮半島の文化・社会・歴史などに関する知識を身につける。④初歩的な表現方法を運用する能力を養う。

[授業計画と内容]

授業は毎回、配布されるプリントの内容に則って進められる。特に最初の段階では文字と発音を正確に習得することが要求される。
文字と発音の練習をおよそ５回ほどの授業で終えた後は、この言語を使用する人たちが暮らす朝鮮半島の文化・社会・歴史などについて学び、考えながら、言語を習得してゆく。

第０１回　ハングルの文字と発音１
第０２回　ハングルの文字と発音２
第０３回　ハングルの文字と発音３
第０４回　ハングルの文字と発音４
第０５回　ハングルの文字と発音５
第０６回　朝鮮半島の文化１
第０７回　朝鮮半島の文化２
第０８回　朝鮮半島の社会１
第０９回　中間試験
第１０回　朝鮮半島の社会２
第１１回　朝鮮半島の歴史１
第１２回　朝鮮半島の歴史２
第１３回　朝鮮半島の政治・経済・日韓関係１
第１４回　朝鮮半島の政治・経済・日韓関係２
第１５回　試験

朝鮮語ＩＡ（演習）K1201(2)へ続く↓↓↓

朝鮮語ＩＡ（演習） K1201(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

成績評価は、平常点、中間試験および定期試験によって行う。成績評価基準の詳細については、授業中に指示する。

[教科書]

使用しない
プリントを配布する。

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回のプリントの文章を訳すだけでなくすべて丸ごと暗記する。

[その他（オフィスアワー等）]